

NISSHA 株式会社

「2024 年 12 月期第 3 四半期 WEB 決算説明会」

質疑応答の要旨

(2024 年 11 月 8 日開催)

Q1. デバイス事業のタブレット向けの需要は想定と比べてどうか。また稼働状況はどうか。

A1. Q4 の需要が減少することは想定していたので概ね想定通りの見通し。稼働体制は需要に合わせて人員を最適化している。

Q2. 各事業の 2025 年の見通しはどうか。

A2. 産業資材事業はモビリティ向けの需要が増加する見通し。内装の底堅い需要に加えて、外装向けの量産が年後半から開始する。医療機器向けにおいては、買収した Cathtek の業績貢献（2025 年に 12-13 億円）を見込む。

デバイス事業はタブレット向けのハイエンドモデルの需要が減少する見通し。需要に応じた人員の最適化を細かくコントロールするなど、収益性を確保する。

メディカルテクノロジー事業では、売上高の成長が継続する見通し。利益面では 2024 年の一過性の費用が解消され利益は改善する見通し。

Q3. 各事業の利益率目標は。

A3. 産業資材は中期的に 10%、デバイス事業は 5-6%、メディカルテクノロジー事業は短期的に 8%、中期的に 10%を目指す。

Q4. キャッシュアロケーションの考え方について教えてほしい。

A4. 成長投資を中心に活用する方針に変わりはない。株主還元とのバランスをうまくとっていく。